



かえで

夢と笑顔と「ありがとう」が
あふれる 上里東小学校
令和5年 2月15日
第 20号

上里の子供たちを育てる合言葉：あいさつ、返事、靴そろえ、集中した清掃（膝つき清掃）

【校長賞】 1, 773冊（目標2500冊） 421名（目標400名） 2月10日現在



家庭学習の習慣

年度を重ねるごとに、児童の「校長賞」家庭学習への取組が意欲的になってきていると感じます。学校で学習したことを家庭でもう一度やってみることで、学習内容が定着していきます。また、学習したことをもっと発展させて、調べたり深めたりできれば、学ぶ楽しさを味わうことにもつながることでしょう。家庭学習に意欲的に取り組める児童が多くなってきていますが、なかなか家庭学習の習慣が身に付かず悩んでいる家庭もあるかと思えます。昨年の学校だよりでも掲載したのですが、現学年の学習のまとめに入っていくこの時期に改めて取り上げてみたいと思います。

以下、読売新聞記事より*****
思春期の子育てアドバイザー道山ケイさんは年間約3000組の親子の勉強をサポートしている。「最近、小中学生の子供がゲームばかりして、全く勉強しないという相談が増えている」と話す。経験上、子供が自ら勉強するようになるには、親の努力が必要と強調する。

まず、1日15分、助言なしで子供の話聞くことをすすめている。「聞く際に親が勉強の話をすると、子供にとってストレスになる」と指摘する。「今日の体育の授業でサッカーしたの?」「シート決めたの、すごいね」などとたわいのない話をし、共感することが大切だ。

次のステップは勉強のやる気を引き出すこと。どんなことをしたら子供がやる気を出すか考えよう。小学生なら宿題をやったら御褒美でシールを与えてもいい。中学生には、テストの点数が上がったらお小遣いをアップしたり、ゲームで遊ぶ時間を少し延長したりするなど、現実的な対価が効果的。「勉強が好きな子はほとんどいない。自然と勉強するようになるには、こうした対価も必要」という。

軌道に乗るまでは親のサポートが必要だ。勉強の仕方が分からなかったり、分からない問題があったりするとやる気がなくなるためだ。「手伝えることがあったら言って」と伝え、相談してきたタイミングで教えよう。

【親のできること】

- ① 1日15分子供の話聞く
- ② 勉強のやる気を引き出す
- ③ 親が勉強のサポートをする

【具体的な勉強法】

- ① 授業中に家で復習する箇所をチェック
- ② 暗記は同じ日に2回、翌朝、その1日後もやる
- ③ 机に座らなくてもできる勉強を生活に組み込む
- ④ 教科書で勉強したら必ず演習問題もやる
- ⑤ 間違った問題を集めたノートを作る

全校朝会(2月)

夢と笑顔と「ありがとう」があふれる上里東小学校

～米沢藩第9代藩主 上杉鷹山に学ぶ～



なせば成る
なさねば成らぬ
何事も
成らぬは 人の
なさぬなりけり

○がんばっているのにできないのは・・・

- ・まだ努力が足りないのかもしれない。
- ・本気で取り組んでいないのかもしれない。
- ・やり方がじぶんに合っていないのかもしれない。

○達成したいことがあったら、途中であきらめずに、小さな努力を重ねてできるまでやり抜くことが大切です。

12月の全校朝会では、「二宮尊徳」についての話をし、小さな事を怠けることなく務めれば、やがて大きな目標に到達できること(積小為大)、自分の持っている力をほんの少し(1%)でよいから、「世のため、人のため」に使う(推譲)こと、大切さを伝えました。

2月の全校朝会は、「上杉鷹山」について話をしました。令和2年度の全校朝会でも話をしましたので、2回目ということになります。目標に向かって、小さな努力を積み重ねていけば、目標を実現することができる。努力しているのに成果が出ないのは、まだまだ努力が足りないのではないのか、本気で取り組んでいないのではないのか、取り組む手段が合っていないのではないのか。子供たちの「やる気スイッチ」に少しでもふれることができればいいなと願いながら話をしたところです。

避難訓練

2月10日、不審者が校舎内に侵入したことを想定した避難訓練を行いました。本庄警察署の方に不審者になってもらい、刺股の使い方等について指導を受けました。(下の写真)また、登下校中や遊びに出た際に不審者に遭った時の対応等について話をしてもらいました。

左の「いかのおすし」についても参考にさせていただきますようお願いいたします。



5つのお約束! 安心して登下校

「いかのおすし」

しらないひとには、ついて

いかない

こえをかけられても、くるまには

のらない

しらないひとにつれていかれそうになったら

おおごえをだす

こえをかけられたりおいかけられたりしたら

すぐにげる

こわいことにあたりみたりしたら、すぐにおとなに

しらせる